

平成 30 年度 第 9 回 昭島市社会教育委員会議・要点録

開催日時／会 場 平成 30 年 12 月 20 日（木）午後 7 時 00 分～8 時 00 分 昭和会館
出席者 谷部議長、中村副議長、佐伯委員、長瀬委員、稲垣委員、濱田委員、
松本委員、二ノ宮リム委員、吉村委員
欠席者 齋藤委員
事務局 伊藤社会教育課長、吉村社会教育係長、来住野社会教育主事

1 開 会

<配付資料>

- 資料 1 所属団体や活動の中での課題について（アンケート回答まとめ）
資料 2 市民のニーズを活かす・つなげる あきしま会議について

- ・昭島市月間行事予定表 1 月
- ・とうきょうの地域教育 No. 134
- ・あきしまの教育 No. 94
- ・公民館だより No. 189

2 報 告

(1) 平成 30 年度東京都市町村社会教育委員連絡協議会交流大会・社会教育委員研修会について (12/15)

議 長 参加された方から簡単に一言ずつお願いしたい。

委 員 研修会では、人をつなげる手段として先生がいろいろなことをされていることがわかった。1 時間半の中での情報量が大変多かった。

委 員 「絆」の読み方について非常に参考になった。「きずな」と読むのと「ほだし」と読む場合では、同じ「つながり」でもニュアンスが異なる。先月長野大会に参加した時に、ある先生が「おせっかい」という言葉の意味を学生にどう捉えているかについて問いかけたところ、ほとんどの学生がマイナスなイメージを感じており、人とのつながりという点で、現代のその風潮はやや寂しいというお話をされたことを思い出した。

委 員 各ブロックの報告で、第 1 ブロックの研修の資料には瑞穂町の郷土資料館の取り組みが紹介されており、講師も地域人材を活用するなど非常に良いと思った。各市町村からのアンケートもまとめられており、参考になった。第 5 ブロックの新しい施設に見学に訪れてみたいと感じた。

委 員 各ブロックの報告を聞いていると、幹事市・町の地域の伝統芸能などを紹介しており、よいことだと思った。グループに分かれて話し合うという、双方向に学び合う形式を取っているのは第 2 ブロックで、その他のブロックは講義形式が多いということも感じた。第 2 部の研修会は参加者とのやりとりもあって引き込まれ、大変素晴らしいものだった。

議 長 全体的な質問の時間が各ブロックの報告の後設けられたが、ブロックの報告ごとに質

問時間を設ける方がよいのではと感じた。私はこれまで様々な研修会等に参加する機会があったが、参加者の参加意識を高めるとても素晴らしいプレゼンテーションで感銘を受けた。

(2) その他

事務局 今年度の社会教育関係委員研修会が、平成31年2月27日(水)午後7時より、市民ホールで予定されている。今年度の幹事は、青少年委員が務める。懇親会も開催される。

3 議題

(1) 第30期社会教育委員会議の進め方について(資料1)

議長 前回、各所属団体等の課題などについて事務局に送っていただいたものをまとめたのが資料1である。それ以外にあればお願いしたい。

委員 加盟員の減少、指導者の高齢化が課題である。若い指導者も育ってはいるが、子供の頃から団に入っており、そのまま大人になって指導者になるという仕組みになっている。経験がなく、保護者として入ってきた人が指導者になっていくという道がないので、それが今後の課題と捉えている。

委員 自治会での清掃会についてお話したい。居住者の状況からやや特殊な自治会で、加入者の高齢化などの問題はなく、加入状況も一定数を保っている。ただ、行事への参加者数は年々減少している。毎年この時期に清掃会があるのだが、実際行ってみると参加者が少なかった。この清掃会を何のためにしているのかと考えたとき、一緒に参加した人にも話を聞くなどしてみたのだが、住んでいる地域をきれいにするというよりも顔を合わせる事が主となっているので、年末の大掃除にこだわるのではなく、もう少し気候のいい時期に行うことや、今回も消防署の方に来ていただいて訓練の実施もしていたが、他の行事と組み合わせて顔合わせの機会をつくるなどしてはどうかと思った。年末の大掃除という固定観念が自分にもあったことに気付いた。

委員 2点ある。ひとつ目は家庭教育の衰退。先日ツイッターで、妊娠している女性が見知らぬ子供に出会い頭におなかを殴られたという投稿があった。こういうことは学力などとは全く異なるスキルで、これまでは家庭教育の中で身につけていくものと捉えられていたが、いよいよ学校・地域の中でこういうスキルを養う時期が来ているのではないかと感じた。

ふたつ目は、自治会の町内に子どもはたくさんいるが、子ども会が成立しなくなる状況になった。子どもはいるが、自治会に加入しない。自治会に加入していても子ども会活動には携わらないという家庭もある。理由は役員になると大変だからということ。では、大変ではない役員・ボランティア活動を考えなければならない。PTAは子供が学校に通っているから、何とか役員をやるが、それ以外のボランティア活動に携わるために、もっとボランティアの責任を軽くするなど、役員は大変だという意識の独り歩きを止める取組みを考えなければならないのではと思っている。

委員 学校教育の新しい考え方など中身を社会の中でどのように認識してもらうか、内容や

目指すところを社会の皆様にわかりやすくお伝えしていくことが連携だと思う。学校教育の中で、社会をどのくらい意識して学んでいくか、個を育てるだけでなく、社会の作り手になっていくことを目指していくことが必要である。地域の人的・物的資源について、子どもたちが社会とのつながりを密接に感じて興味関心を持ったり、学校の枠組みの中から社会への活動をされている方のところへ行ったり、施設へ行くなど探究的に課題意識を持って学習を進めていくことがより大事になってくると感じている。子供たちが、教科書に載っている知識などを社会ではどのように活かしているか、社会の中でのやりがいや苦労の中などに触れ合うことも大事だ。地域の中には家庭も含まれる。小学校の中では学ぶことのほか、生活・運動の習慣づけにも重きを置いている。知識や興味関心は学校でも教え、きっかけづくりもできるが、定着にはご家庭の力をお借りしている。それぞれの役割の中で習慣づけができていくことが大事だと思う。

(2) 市民のニーズを活かす・つなげる あきしま会議について (資料2)

議 長 2月9日(土)に第2回目となる「市民のニーズを活かす・つなげる あきしま会議」を開催する。

事務局 活動を報告してくださる方を募集するにあたり、添付の資料をお渡しいただきたい。また、報告はしなくても「聞き手」となる方が重要になるので、ご興味ある方にご参加を呼び掛けていただきたい。いろいろな市民の方がつながる場としてお声掛けいただきたい。

委 員 人前で活動を語ることによって生まれる当事者性というものもあると思う。

議 長 私もサロン活動をしている方にも声をかけ内諾をいただいた。ぜひ、みなさんも呼びかけてほしい。次回の日程を確認し、閉会とする。

次回

1月24日(木) 午後7時より 市役所2階205会議室

2月14日(木) 午後7時より ムラリ(朝日町2-1-20)